

第10回県政参画電子アンケート 「とっとり健康省エネ住宅の性能基準の策定」に関するアンケート結果概要

1 調査概要

- テーマ 「とっとり健康省エネ住宅の性能基準の策定」に関するアンケート
- 実施期間 令和2年1月8日～1月17日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 681名
- 回答数 474名(回答率 69.9%)

2 目的・概要

鳥取県では国の省エネ基準を上回る高い省エネ性能を持つ住宅を普及させることで、県民の健康の維持・増進、省エネ化の推進及びCO₂の削減を図ることを目的に、戸建住宅の新築における県独自の健康省エネ住宅性能基準の策定を進めています。

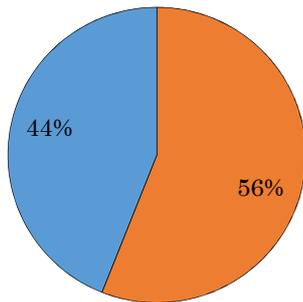
この度、基準策定及び今後の普及施策について参考とするため、会員の皆さまへアンケートを実施しました。

問1

断熱性が高い住宅は、省エネだけでなく次のような健康面への効果があることはご存じでしたか。

- 冬期に室温が下がりにくいので血压上昇を抑制し、住戸内での温度差が少ないのでヒートショックの予防につながります。
- 結露の減少によるカビ、ダニの発生改善により、アトピー、アレルギー症状の改善に有効です。
- 年中、快適な室温になることにより住戸内での運動量が増加します

- 1 知っていた
- 2 知らなかった



■知っていた ■知らなかった

問2

欧米では、日本に比べて高い省エネ基準への適合が義務付けられていることをご存じでしたか。

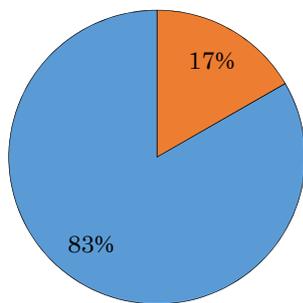
<健康省エネ住宅性能基準(案)>

区分	指標	国の省エネ基準	健康省エネ住宅性能基準(案)		
			TG-1	TG-2	TG-3
断熱	外皮平均熱貫流率 U_a 値 ($W/m^2 \cdot K$)	0.87	0.48	0.34	0.23
気密	隙間相当面積 C 値 ($c \text{ m}^2/m^2$)	基準なし	1.0	1.0	1.0

世界の省エネ基準 (U_a 値) との比較	
寒 ←	→ 暖
● 日本 (0.87)	● フランス (0.36)
● 英国 (0.42)	● ドイツ (0.40)
● 米国 (0.43)	

断熱 (U_a 値) : 建物内の熱が外部に逃げる割合を示す指標。値が小さいほど熱が逃げにくく、省エネ性能が高い。
 気密 (C 値) : 建物の床面積当りの隙間面積を示す指標。値が小さいほど気密性が高い。(国の省エネ基準(平成11年)では $5.0 \text{ cm}^2/m^2$)

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

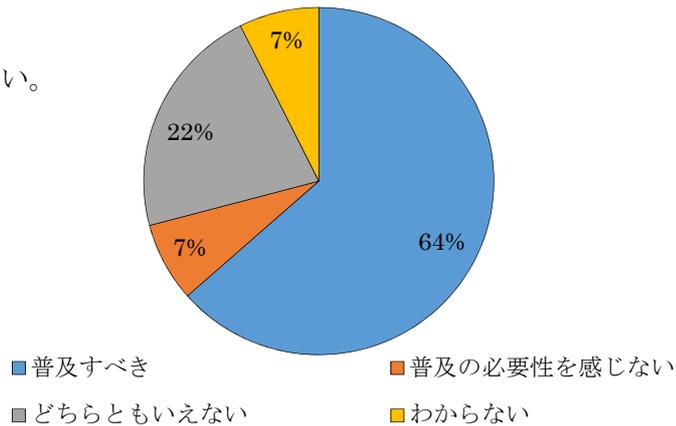


■知っていた ■知らなかった

問3

国の省エネ基準を上回る、欧米と同等以上の省エネ基準（健康省エネ住宅性能基準）を県として定めて、普及を図ることについてどう思いますか。（問2の図を参照）

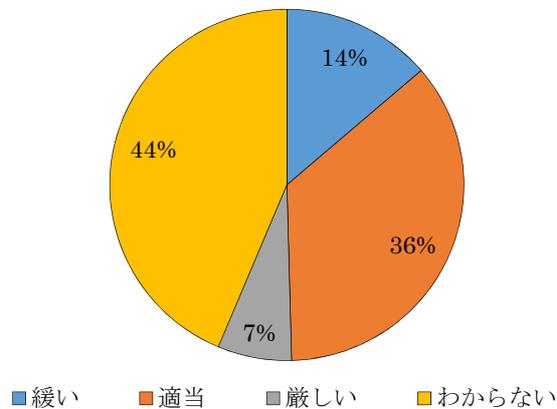
- 1 普及すべき。
- 2 普及の必要性を感じない。
- 3 どちらともいえない。
- 4 わからない。



問4

健康省エネ住宅性能基準（案）の水準についてどう思いますか。（問2の図を参照）

- 1 緩い。
- 2 適当。
- 3 厳しい。
- 4 わからない。



問5

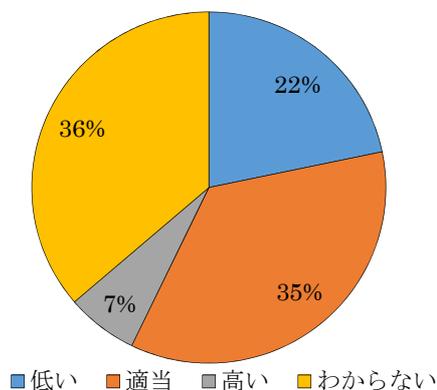
健康省エネ住宅の普及目標についてどう思いますか。

年間新築着工戸数に対する健康省エネ住宅戸数の割合を2025年度までに3割に引き上げる。

	2018 (H30)	2021 (R3)	2023 (R5)	2025 (R7)
性能基準適合住宅着工戸数	150戸	250戸	370戸	480戸
性能基準適合住宅着工割合	9%	16%	23%	30%

※ 県内における直近5年間の戸建て住宅の新築着工戸数は年間平均1,450戸

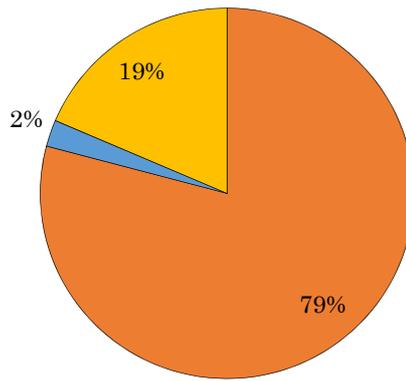
- 1 低い。
- 2 適当。
- 3 高い。
- 4 わからない。



問6

家を建てるとしたら、健康省エネ住宅性能基準を満たす住宅を選択したいと思いますか。

- 1 選択したい。
- 2 選択したいとは思わない。
- 3 どちらともいえない。



■ 選択したい ■ 選択したいとは思わない ■ どちらともいえない

問7

家を建てる場合に、健康省エネ住宅を選択してもらうために何が必要だと思いますか。

